

発行 伊藤ひであき事務所 豊橋市東田町西前山144-14 TEL 0532(53)3483 FAX (53)3809  
EMAIL : hide@apli.co.jp インターネットホームページ <http://www.itouhideaki.com/>

## 市長選を前に市長と論戦！

### 6、9月議会連続登壇「豊橋は再生したのか！」

市政始まって以来の不祥事で揺れた90周年の秋から8年。豊橋はあの苦渋の日々からどのように再生したのか。

またこの間を担った早川市長は「一期目では、各分野で種をまいてきた。二期目で花を開かせ、実をならせたい」と取り組まれてきましたが、花は咲き、実はなったのか。

そして、市制100周年に向けて新たな展望をどのように開いていくのか。

伊藤ひであきは6月議会、9月議会と連続登壇し、早川市政8年の総括と市制100周年への新たな展望を開くために以下の論点について議論しました。

#### <<6月議会>>

(1)豊橋は農業日本一を渥美町と合併後の新田原市に譲り、県内第二の人口規模も合併する新豊田市に抜かれる。特色ある豊橋の産業を三河港やIT農業を柱に地域産業活性化に取り組んでいかねばならない。もっと主体的な戦略が必要である。

(2)佐世保の少女殺害事件を教訓にネット社会のなかでの子どもたちの健全な成長のために子どもを守る大人ネットワークの構築が必要。また全国平均より多い不登校児対策をもっと子どもの目線で。

#### <<9月議会>>

(1)不祥事の舞台となった「根強い談合体質による公共工事の入札」には制度面でも改革してきたが、当時、問題になった「一般競争入札」は拡大されていない。公平・公正・透明な行政運営に市役所は一丸となって取り組むべき。最近のタクシードライバー問題については不信は解消されていない、徹底究明を。

(2)「開かれた市政」「市民参加の市政」は早川市政の大命題。わかりやすい市政情報の提供に心がけ、情報を共有し市民との協働の街づくりに努力していく必要がある。

(3)次世代型焼却炉導入、分別拡大、プラスチックごみ全量リサイクルなど8年間の廃棄物行政の取組みを更に進め、530のまちの「埋め立てゼロ」を目指し更に進めていく。

(4)「行政評価システム」は5年間の「事務事業評価」の実践を経て、「政策施策評価」の新たな段階に入る。全国に誇りうる手法として豊橋方式を確立し、導入目的である市民に良質なサービスを提供し、職員の意識改革に取り組んでいく。

(5)国の「三位一体改革」の大きなうねりの中で交付税に依存しない自立した地方主権の街づくりに取り組むことは時代の流れである。そのためにも税源移譲を優先した改革を国に要請していく。

(6)「豊川水源基金の見直し」により、水源林涵養のため1トン1円相当額を負担する(豊橋市は毎年4000万円)予定であるが、多額の原資を永久に要することになる。住民への説明責任を果たし、上下流一体となって強力に取り組んでいく必要がある。

(7)市町村合併は地方の行財政改革のチャンスである。周辺自治体の合併の動きを見定めながら、21世紀の展望を開くためにリーダーシップを発揮して「三河市」構想の実現に取り組んでいくべきである。

(8)4万5千余人に上る署名とともに要望が強かった豊橋市民病院に「女性専門外来」については、継続的な女性医師の確保が難しく、直ちに実施できる状況ではないが、当面経験豊かな看護師など女性スタッフが「女性専門相談室」を設置し女性患者をサポートしていく体制を作る。(END)